



▲イベントが始まるとたくさんの人が足を止め、拍手を送っていました

テイクアウトで楽しもう 第7回 道の駅マルシェ開催

11月14日、道の駅まぐらがの里こがで道の駅マルシェが開催されました。今回は感染症拡大防止の観点から、テイクアウト商品の販売に形を変えて実施。地元の野菜を使った商品などを求める人の姿が多く見受けられました。

また、マジックショーやモンキーパフォーマンスなどのイベントも開かれ、来場者からは「少しずつ活気が戻ってきた」との声が聞かれました。



▲図面に沿って部品を組み立てていく児童

子どもたちに科学の楽しさを 青少年のための 科学の祭典古河大会

11月6日・13日・20日に、青少年のための科学の祭典古河大会が開催されました。

5人の講師が科学実験や工作教室をオンライン形式と参集形式に分けて実施。総和工業高等学校の三浦洋徹先生の講義では、暗くなるとLEDが点灯する電子回路『ピカル君』を作成しました。部品を穴あき基盤に差し込む細かい作業に苦戦しつつも、工具を使いながら楽しく学ぶ児童の笑顔が見られました。

作る楽しみを体験しよう スペースUクラフトマルシェ

11月27日・28日にスペースUクラフトマルシェがスペースU古河で開催されました。

会場にはワークショップやハンドメイドブースが並び、来場者はペーパーナプキンを使ったかわいいうり作りやカップケーキの食品サンプルに飾り付けするなど、親子や友人同士で仲良く楽しむ姿が見られました。



▲どんぐりのぼうしで作ったハリネズミに顔を描く男子

まるでタイムトラベル Grand Tour Musubi Japan 2021の一行が市内を疾走



▲酒井蔵・富岡蔵の前で観衆に手を振るドライバー

11月14日、都内から奥日光までをクラシックカー等で巡る「Grand Tour Musubi Japan 2021」の一行が歴史ある古河の街並みを駆け抜けました。

同日、酒井蔵・富岡蔵で開催されていた「ジュンカン市」の会場で、古河中等教育学校の生徒からドライバーに古河の名産品が手渡されました。

自らの生き方を考える 古河市中学生の主張大会

12月3日、コスモスプラザで古河市中学生の主張大会を開催しました。古河中等教育学校を含む、市内中学校の代表生徒22人が、日常生活や社会の動向、将来の古河市や日本の在り方など、日頃抱いている思いや考えを堂々と発表。

来場者は、生徒たちの真剣で熱い思いが伝わる主張に、最後までじっくりと聞き入っていました。



▲各学校の代表者たち

古河の素敵な紅葉スポットで 夢あんどんと紅葉狩り



▲お孫さんが作成したあんどんを撮影する市民

11月27日・28日、12月4日・5日に古河歴史博物館周辺で夢あんどんと紅葉狩りを開催しました。

古河第一小学校の児童などが作成した約200個のあんどんが、旧古河城出城の森のきれいに色づいた紅葉や歴史博物館をやさしく照らし出し、幻想的な空間を演出していました。